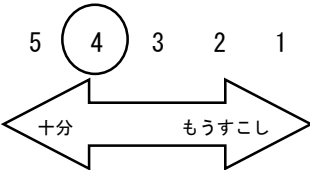
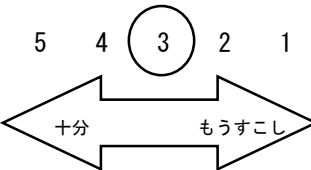
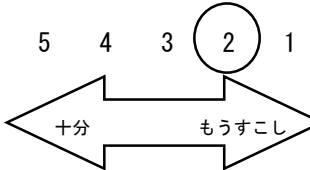


2020年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年3月21日		9:30～11:30	会場	浅茂川温泉 静の里温水プール	
主催クラブ	天橋立ライフセービングクラブ					
対象/参加人数	小学校1年生～6年生					
J L Aのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。					
	十分達成した 達成した 達成していない					
クラブのねらい 達成度	ライフセーバーが使っている器材にレクリエーションを通して楽しく触れ、ライフセーバーや参加者同士の関わりによって、人への感謝や思いやりを養う。					
	十分達成した 達成した 達成していない					
使用機材・教具	ニッパーボード・ウォーターパークチューブ・ジュニア用PFD・2Lペットボトル・スポットマーカー					
タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意	
10	【自己紹介】アイスブレイクな内容で自己紹介実施 【津波のお話】海の見える位置で、地震と津波について話を通して、子ども達の取るべき行動と、大人に知らせる方法についての話。				○	
20						
30	【水慣れ】 PFDの正しい着用を指導し、水慣れと浮身の習得、コースロープくぐりを行った。 周りの友達やスタッフがジャンプをしたりして浮身姿勢時に擬似的な波を発生させた。			P. 45		
40	また泳力がある子どもは、PFDを着用せずに入水をして、浮き方の違いを確認した。					
50	【PFD鬼ごっこ】 PFDを着用した状態で鬼ごっこをした。泳力に自信が無かったり、低学年の子どもはチューブを持ちながら実施をした。				○	
60	【ニッパーボード体験】 2コースを使って、自由にニッパーボードでのパドリングを楽しんだ。最後は2チームに分かれて、ボードリレーレースを実施した。			P. 62～65		
70						
80	未就学児もいたため、この時間はニッパーボードをスタッフが曳航するクルージングをし、別プログラムで同時実施した。					
90	【アスレチックスイム】水中で回る、潜る等で障害物突破を泳ぎながら実施した。			P. 58		
100	【まとめ】 2時間の活動を楽しさを中心に振り返りを実施し、何名かの子どもからも感想を聞いて共有をした。また、スタッフ側から今日伝えたかったことをまとめ、記念品をプレゼントをした。					
110						
120						
130						
140						
150						
160						

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	【PFD鬼ごっこ】 水慣れの後、低学年の子どもたちにスタッフが付き添う形で、プール2コースの半面を使用して実施した。 【ニッパーボード体験】 2人に1本以上のボードを準備し、より長い時間ニッパーボードに乗る体験をしてもらった。 後半ではニッパーボードを交換していく形式で2チームに分かれてレースも行った。 【アスレックスイム】 プログラムのまとめイベントとして、水泳、潜行、ボディーローテーションを組み合わせ、25mを移動する	【水慣れ】 WSの内容に準じる形でプールサイドからの水慣れ、入水、浮身姿勢の確認を実施した。	【津波のお話】 実施プールの立地から近隣の浜辺からの距離、海抜を知り、東日本大震災クラスの津波が発生した場合の高さと取るべき行動についての話をした。
改善計画と今後の展望	楽しさの要素を盛り込んだプログラムは、比較的基礎泳力のある子どもたちには、とても楽しむことができた内容だったが、泳力がない子どもには楽しむまでに達していないようにも見たため、皆が楽しいプログラムのためには、事前準備も含めた工夫が必要であった。	プールの特性上、プールフロアを設置できなかったため、低学年や未就学児にはPFDを離脱した入水をするのができなかった。 感染症禍で、かなり久しぶりにプールに入水する児童もいたため、入念な水慣れを意識した。	時間的にも、環境的にも制限があったが、こういった内容は可能な限り視覚教材を活用すべきだと感じたため、タブレット端末等で動画を流したり、可視化をできるよう工夫したいと思った。

活動写真・集合写真



活動写真・集合写真

